

事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響は小さくなった一方、急激な円安にウクライナ情勢が加わり、約30年ぶりの物価上昇率に直面しています。

こうした状況の下、当社が指定管理者業務を担うグループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）においても、新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に薄れ、各種イベントも数多く開催出来る様になりました。その結果、当期の施設利用者数は前期を上回り、貸館業務や自主事業においても大幅な増収となりました。

新規事業にも積極的に取り組み、広告看板事業や電動自転車レンタル事業など、四つの新たな収益事業を立ち上げております。また、インスタグラムを刷新し、「ReNEW部 KOZOJI」として春日井市と連携し、ニュータウン地区の魅力や情報発信に取り組んでおります。

中古住宅流通促進事業では、空き家から福祉施設への転換の事業化を実施し、エリアマネジメントにおいては、高蔵寺駅周辺の公共施設管理や地域ニーズの発掘を目的としたイベントの開催に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の売上高は242,975千円（対前期比27,838千円増）、売上総利益は96,994千円（同11,134千円増）、営業利益は8,852千円（同4,956千円増）、経常利益は8,831千円（同2,731千円増）、当期純利益は6,348千円（同586千円増）となりました。

(2) 設備投資の状況

当期に実施した設備投資の総額は2,876千円であります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当期もグループふじとう等の指定管理者業務に加え、積極的に新規事業などにも取り組み、収益を計上することができました。次期以降は、これまでの内部留保を活用し、エリアマネジメントに繋がる新たな事業の発掘に努めながら、まちの課題解決と魅力の向上を目指し、より一層収益力の強化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	第3期 (H31. 4~R2. 3)	第4期 (R2. 4~R3. 3)	第5期 (R3. 4~R4. 3)	第6期 (R4. 4~R5. 3)
売 上 高 (千円)	210,147	198,519	215,137	242,975
経 常 利 益 (千円)	13,536	8,810	6,100	8,831
当期純利益 (千円)	9,783	6,366	5,762	6,348
1株当たり 当期純利益	24,459円98銭	15,916円05銭	14,405円29銭	15,871円03銭
総 資 産 (千円)	63,935	64,822	99,249	97,861
純 資 産 (千円)	36,529	42,895	48,657	55,006

(6) 主要な事業内容

- ① 指定管理者事業
- ② 住宅流通促進事業
- ③ 受託事業
- ④ エリアマネジメント事業
- ⑤ 自主事業

(7) 従業員の状況

従 業 員 数	前期末比増減
8名	±0名

(注) 上記従業員数には出向社員1名を含みます。

(8) 主要な借入先

借入先名	借入金期末残高
株式会社大垣共立銀行	1,935千円

2. 会社の株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 8,000 株
- (2) 発行済株式の総数 400 株
- (3) 当事業年度末の株主数 10 名

(4) 主な株主の状況

株主名	持株数	持株比率
春日井市	株 201	% 50.2
春日井商工会議所	89	22.2
株式会社大垣共立銀行	20	5.0
その他 90 株		

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の状況

氏名	地位	重要な兼職の状況
加藤達也	代表取締役社長	春日井市 副市長
前川 広	常務取締役	
山田眞平	取締役	春日井商工会議所 専務理事
小野沢透	取締役	株式会社URリンケージ 顧問
林 敬治	監査役	株式会社大垣共立銀行 常務取締役

貸借対照表

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	87,780	流動負債	40,178
現金及び預金	48,122	買掛金	25,734
売掛金	38,783	未払金	744
仕掛品	329	未払費用	5,779
前払費用	503	未払法人税等	1,495
立替金	41	未払消費税等	2,264
		賞与引当金	2,339
固定資産	10,081	前受金	901
有形固定資産	9,903	預り金	918
建物	1,073		
建物附属設備	920	固定負債	2,676
構築物	5,149	長期借入金	1,935
工具器具備品	2,309	預り保証金	741
建設仮勘定	450		
投資その他の資産	177	負債合計	42,855
長期前払費用	177		
		【純資産の部】	
		資本金	20,000
		利益剰余金	35,006
		繰越利益剰余金	35,006
		株主資本合計	55,006
		純資産合計	55,006
資産合計	97,861	負債・純資産合計	97,861

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 令和 4年 4月 1日から
令和 5年 3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		242,975
売 上 原 価		145,981
売上総利益		96,994
販売費及び一般管理費		88,142
営 業 利 益		8,852
営業外収益		
受 取 利 息	0	
雑 収 入	9	10
営業外費用		
支 払 利 息	31	31
経 常 利 益		8,831
税引前当期純利益		8,831
法人税、住民税及び事業税		2,482
当 期 純 利 益		6,348

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(令和 4 年 4 月 1 日 から 令和 5 年 3 月 31 日 まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益 剰 余 金	利 益 剰余金 合 計		
		繰越利益 剰 余 金			
当期首残高	20,000	28,657	28,657	48,657	48,657
当期変動額					
当期純利益		6,348	6,348	6,348	6,348
当期変動額合計		6,348	6,348	6,348	6,348
当期末残高	20,000	35,006	35,006	55,006	55,006

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

② 無形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の総数 400 株

監 査 報 告 書

第6期事業年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他取締役の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年5月24日

高蔵寺まちづくり株式会社

監 査 役 林 敬 治 ㊞

以 上